



グリップヒーター HG 取り付けについて

適合車種：GB350C (NC64)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

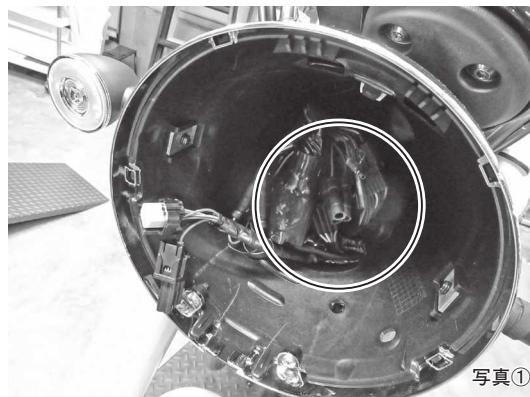
●接続する前に（重要）

セット内容に不備が無いかを確認してください。
また、本説明書に記載の無い各部のボルト、
ナットの取り外し方については車両のサービス
マニュアルを参考にしてください。

<グリップヒーターの取り付けについて>

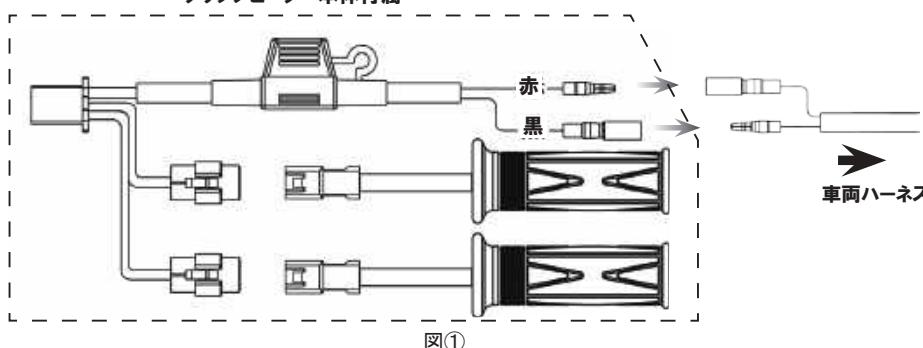
①配線の接続について

ヘッドライトASSYを取り外し、車両の
オプション用ギボシ端子（赤／黒線、緑線）
を確認して、それぞれにグリップヒーター
のハーネスのギボシを接続します。
(写真①)



ハーネスを接続したら、図①のように左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、グリップとスイッチは一旦ハーネスから外しておきます。

グリップヒーター本体付属



②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーティクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け

グリップヒーターに付属のステーをハンドルパイプに固定します。
(写真②)

→ハンドルの形状上、マスターシリンダーホルダーの横以外での取り付けは難しくなっておりますので、ご注意ください。
また、操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。その後、両面テープで制御スイッチを固定します。

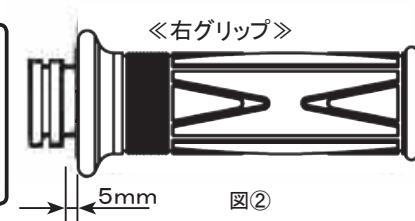


写真②

④左右グリップの取り付け（参考例）

下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。
また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。



●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

⑤配線のまとめ（参考例）

それぞれの取り付けが終わったら、車両のハーネスやスロットルケーブルなどに沿わせながら、左右グリップ、スイッチの配線を通してグリップヒーター・ハーネスのカブラーに接続します。（写真③、⑤）

配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかるっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。



・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上のイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com

2024.10.11

※このとき、ハーネスとスイッチの接続カブラー部は配線テープを巻き付けて防水処理を施してください。
(写真④)



⑥取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、取り外したもの元に戻して取り付け完了です。

